



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月10日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 伊藤 真

TEL 03-3457-6254

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,180	3.3	20	94.5	321	42.3	4,316	
2025年3月期第3四半期	29,216	2.2	370	34.9	557	29.6	262	45.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,148百万円 (98.1%) 2025年3月期第3四半期 1,589百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	646.48	
2025年3月期第3四半期	39.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	43,508	26,570	60.6
2025年3月期	40,373	23,595	57.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 26,377百万円 2025年3月期 23,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		9.00		16.00	25.00
2026年3月期		10.00			
2026年3月期(予想)				11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	8.9	100		200	64.1	3,600	484.9	539.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	7,600,000 株	2025年3月期	7,600,000 株
2026年3月期3Q	923,556 株	2025年3月期	923,556 株
2026年3月期3Q	6,676,444 株	2025年3月期3Q	6,676,444 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国通商政策や物価高の影響等はあるものの、所得環境の改善等が後押しし、景気は回復の動きが強まっております。景気の先行きについては、米国や中国の通商・外交政策による世界経済に対する影響や地政学リスクの高まり等により、依然として不透明な状況が続いております。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は、6月中旬には中東情勢の緊迫化等により一時70ドル台半ばまで上昇、12月中旬には米国の原油・石油製品在庫増加等により50ドル台半ばまで下落したものの、概ね60ドル台で推移しました。為替は、期初から概ね140円台で推移していましたが、10月上旬以降は円安がさらに進行し、11月下旬には150円台後半となりました。国内石油製品価格は、ガソリンが5月下旬から170円台で推移していましたが、11月中旬以降、暫定税率廃止に向けた補助金の段階的拡充が開始されたこと等により、12月中旬には150円台後半まで下落しました。国内石油製品需要は、夏場の需要期のガソリン販売は堅調であったものの、ハイブリッド車や電気自動車等の電動車の普及による構造的な要因等により依然として減退傾向で推移しました。

再生可能エネルギー業界におきましては、米国や欧州の脱炭素政策見直しの動きが強まっているものの、世界的な脱炭素化の流れは継続しております。わが国においても、政府による脱炭素に向けた取組みに対する導入支援策が継続する等、今後も再生可能エネルギー強化の流れは中長期的に続くことが見込まれます。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、石油関連事業の直営部門における燃料油販売数量の増加等により、売上高は30,180,962千円（前年同期比3.3%増）となりました。営業利益は、再生可能エネルギー関連事業でPKS（Palm Kernel Shell：パーム椰子殻）の収益性が低下したことやバイオマス投資関連の費用計上等により、20,502千円（前年同期比94.5%減）、経常利益は、海外子会社で米ドルが対マレーシアリンギットで通貨安に推移したことに伴う為替差益の発生や持分法による投資損失の減少等があったものの、321,844千円（前年同期比42.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上等により、4,316,208千円（前年同期比1545.6%増）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

石油関連事業全体につきましては、直営部門における燃料油の販売数量増加等により、売上高は前年同期比2.8%増の27,582,827千円となりました。セグメント利益は、直営部門における法人向け潤滑油の販売数量増加や、直営部門におけるレンタカーや洗車によるカーケア収益の増加等により、前年同期比37.5%増の648,906千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、燃料油の販売数量増加等により、売上高は前年同期比2.7%増の23,589,989千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、燃料油の販売数量減少等により、売上高は前年同期比2.5%減の189,356千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、法人向け潤滑油の販売数量の増加等により、売上高は前年同期比2.1%増の2,938,097千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業関連商品の販売増加等により、売上高は前年同期比18.1%増の665,104千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、LPガスの輸入価格下落に伴う販売価格の低下等により、売上高は前年同期比6.7%減の200,279千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、PKSの販売増加等により、売上高は前年同期比10.9%増の2,117,052千円となりました。セグメント損失は、PKSの収益性が低下したことやバイオマス投資関連の費用を計上したことに加え、昨年7月、連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所設備が落雷によって発電を停止した影響等により、458,839千円（前年同期はセグメント利益2,496千円）となりました。なお、NSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所設備は既に復旧しております。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、「EDIAN（エディアン）」シリーズをはじめとする賃貸マンションの稼働が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期並みの481,082千円となりました。セグメント利益は、修繕工事実施等により前年同期比10.4%減の242,642千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、3,134,356千円増加し、43,508,351千円となりました。

これは、投資有価証券及び関係会社株式が2,388,943千円減少したものの、現金及び預金が4,756,176千円、前渡金が697,077千円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、159,172千円増加し、16,937,722千円となりました。

これは、借入金が467,999千円、繰延税金負債が443,677千円減少したものの、前受金が822,901千円、支払手形及び買掛金が183,153千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2,975,183千円増加し、26,570,629千円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金が1,014,480千円減少したものの、利益剰余金が4,142,621千円増加したことによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、457.60円増加し、3,950.81円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました業績予想から修正いたしません。

なお、2025年5月13日公表の「関連会社株式に係る契約及び特別利益（投資有価証券売却益）計上見込のお知らせ」及び2025年11月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社が保有する株式会社日新の株式売却を行い、2026年3月期第3四半期決算において投資有価証券売却益50億77百万円を計上いたしました。

当社は、持続的な企業価値向上と株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要課題と位置付けております。今期につきましては一過性の特別利益を計上いたしましたが、これらの活用については、今期だけでなく中長期的な視点も踏まえて、積極的な成長投資、財務健全性の維持・向上、適切な株主還元のバランスを総合的に勘案し検討を進め、決定次第、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,230,004	8,986,180
受取手形、売掛金及び契約資産	8,649,334	8,905,044
商品及び製品	2,215,788	2,108,304
その他	547,288	1,633,337
貸倒引当金	△4,804	△4,498
流動資産合計	15,637,610	21,628,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,759,913	3,913,929
土地	5,995,508	5,999,175
その他（純額）	3,936,853	3,278,890
有形固定資産合計	13,692,276	13,191,995
無形固定資産	30,648	41,454
投資その他の資産		
投資有価証券	8,148,730	5,195,119
関係会社株式	1,791,561	2,356,227
その他	1,103,108	1,123,845
貸倒引当金	△29,939	△28,661
投資その他の資産合計	11,013,459	8,646,531
固定資産合計	24,736,384	21,879,982
資産合計	40,373,995	43,508,351
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,012,480	2,195,633
短期借入金	2,122,776	4,266,108
未払法人税等	120,902	9,903
賞与引当金	250,301	125,559
役員賞与引当金	23,120	11,250
災害損失引当金	—	130,150
その他	969,142	2,015,792
流動負債合計	5,498,721	8,754,397
固定負債		
社債	184,000	128,000
長期借入金	7,511,634	4,900,303
繰延税金負債	2,197,765	1,754,087
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	710,942	680,301
資産除去債務	188,360	189,195
持分法適用に伴う負債	—	45,258
その他	480,824	479,875
固定負債合計	11,279,828	8,183,324
負債合計	16,778,549	16,937,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,286,817	3,286,817
利益剰余金	12,177,653	16,320,274
自己株式	△688,705	△688,705
株主資本合計	18,399,765	22,542,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,693,514	3,679,033
為替換算調整勘定	121,401	21,150
退職給付に係る調整累計額	107,571	134,817
その他の包括利益累計額合計	4,922,486	3,835,001
非支配株主持分	273,192	193,240
純資産合計	23,595,445	26,570,629
負債純資産合計	40,373,995	43,508,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,216,277	30,180,962
売上原価	23,682,744	24,851,821
売上総利益	5,533,533	5,329,140
販売費及び一般管理費	5,162,544	5,308,638
営業利益	370,988	20,502
営業外収益		
受取利息	2,065	3,486
受取配当金	283,749	260,555
売電収入	83,945	71,102
為替差益	—	42,237
その他	162,148	180,705
営業外収益合計	531,909	558,088
営業外費用		
支払利息	107,817	118,398
持分法による投資損失	160,630	108,083
為替差損	60,107	—
その他	17,013	30,263
営業外費用合計	345,568	256,745
経常利益	557,329	321,844
特別利益		
投資有価証券売却益	611	5,134,659
資産除去債務戻入益	—	3,721
移転補償金	—	16,714
特別利益合計	611	5,155,096
特別損失		
減損損失	—	209,649
事業整理損失引当金繰入額	15,300	—
固定資産撤去費用引当金繰入額	3,600	—
災害損失引当金繰入額	—	130,150
特別損失合計	18,900	339,800
税金等調整前四半期純利益	539,040	5,137,140
法人税、住民税及び事業税	144,493	906,020
法人税等調整額	112,031	△5,136
法人税等合計	256,524	900,883
四半期純利益	282,516	4,236,256
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20,232	△79,952
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,284	4,316,208

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	282,516	4,236,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,197,981	△1,035,726
為替換算調整勘定	118,850	△100,250
退職給付に係る調整額	△7,026	27,245
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,897	21,246
その他の包括利益合計	1,306,907	△1,087,485
四半期包括利益	1,589,424	3,148,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,569,192	3,228,723
非支配株主に係る四半期包括利益	20,232	△79,952

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

当社は、関連会社であるJリーフ株式会社の運転資金の借入債務に対し、支払可能性額が次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
最大支払可能性額	777,473 千円	648,079 千円
当四半期末時点の支払可能性額	777,473 千円	648,079 千円
差引額	－ 千円	－ 千円

(注) 支払可能性額から持分法適用に伴う負債として計上された金額を控除した金額を記載しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	26,828,307	1,909,571	478,398	29,216,277	—	29,216,277
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	25,230	25,230	△25,230	—
計	26,828,307	1,909,571	503,629	29,241,508	△25,230	29,216,277
セグメント利益	471,921	2,496	270,724	745,141	△374,153	370,988

(注) 1. セグメント利益の調整額△374,153千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	27,582,827	2,117,052	481,082	30,180,962	—	30,180,962
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	25,248	25,248	△25,248	—
計	27,582,827	2,117,052	506,330	30,206,210	△25,248	30,180,962
セグメント利益 又は損失(△)	648,906	△458,839	242,642	432,709	△412,206	20,502

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△412,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において209,649千円を当該減損損失に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	385,653千円	505,999千円
のれんの償却額	472千円	472千円